

平成29年度 事業計画



学校法人 加計学園

御影インターナショナルこども園

MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ!」をコンセプトに、0歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)

併設：M-K I S S (学童スクール事業)



御影インターナショナルこども園は、昨年、完成年度を迎え、初めての卒園生を小学校に送り出しました。本園は、特色ある「MIK教育プログラム」「英語イマ

ージョンプログラム」「生活プログラム」の3つの柱によって、それぞれの個性を伸ばしながら発達段階に応じて生きる力を育み、小学校での生活や学びに繋がっていきます。

日本人としてのアイデンティティを身につけ、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てるという教育方針のもと、教育保育内容の一層の充実を図って参ります。

また、M-K I S S、御影小規模保育ルームにおいても、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みます。

今年度、特に以下の項目において重点的に具体的に取り組んでいきます。

- ① 保小連携
- ② 他園（幼稚園・保育所等）との連携
- ③ 施設設備の充実
- ④ 財務改善

御影インターナショナルこども園園長 西原 豊子

御影インターナショナル こども園

設置場所：神戸市東灘区御影2丁目15-27

定員：126名（平成29年度）

■教育活動計画

1. 0-1歳児クラス

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行います。1歳児からは石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行います。また、本年度から、外部講師による体育あそび教室を本格的に導入します。

3. 3-5歳児クラス

英語イマージョンプログラムを行います。専任の担当者が、日々作成したプログラムに沿って、外国人教員と日本人保育士がペアでクラスを運営します。

4-5歳児については、Cambridge Exam, Starters（ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト）を受験し習得度を確認します。

また、絵画造形、体育あそび、音楽、論語など、さまざまな分野の外部講師を招聘し、園児たちの興

味と関心を広げ、大きく育てています。

■他園との連携

近隣の幼稚園や保育園との園児交流を行い、子ども同士がふれあう機会を充実させ、人と繋がる力を育んでいきます。

■保小連携

昨年度一期生を小学校へ送り出しました。本園は、文教地区に立地していることより、私立小学校だけでなく、近隣の公立小学校とも情報交換を図っていきます。卒園後の進学に対する保護者のニーズに応えるため、更に保小連携に取り組みます。

M-KISS

定 員：64名（小学校1～4年生）

■教育目標

- (1) 英語イマージョンプログラムを中心とした教育を行います。習熟度別にクラス編成を行い、少人数クラスできめ細かな指導を行います。また、立腰教育を実践することにより、集中力や持続力を養うとともに、精神や身体のバランス感覚を磨き、健康的な心身を養います。
- (2) 安心できる放課後支援の場を提供します。

■教育活動計画

今後も安心できる放課後支援の場として、地域の学童待機児童の受け皿として事業を展開します。英語イマージョン教育の学習効果を高め、シームレスな授業を展開するため、同レベルの児童が共に学ぶことができる環境を整えていきます。

具体的には、イマージョンプログラムにおける新単元の授業日と復習を中心とした授業日を明確に設定します。また、タブレットPCの導入を行い、学びに対する生徒の主体性や、学習意欲、思考力などの向上に繋げていきます。

御影小規模保育ルーム

定 員：19名（0歳児～2歳児）

■保育方針と保育目標

保育指針に基づき、支給認定を受けた保護者の児童に対し、特定地域型保育を提供します。

■保育活動計画

1. 0～1歳児クラス

健やかな生活を確立できるよう環境を整えるとともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけていきます。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養います。

2. 2歳児クラス

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけていきます。

■他園との連携

近隣の保育施設との園児交流を行い、子ども同士がふれあう機会を充実させ、人と繋がる力を育んでいきます。

■地域との連携

地域社会の一員であることを自覚して、地域の方々との触れ合いを深め、関係機関とのネットワークを通じ、連携をしていきます。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

月1回の園庭開放日を設け、地域の子育て家庭に門戸を広げます。また、夕涼み会（夏祭り）やファミリーコンサート、子育て講座など地域の方にも参加していただける行事を実施します。

地域の自治会と連携し、老人会との交流を図る機

会を作ります。

■地域活動への参画

地域の清掃活動や、神社や地域主催の行事に積極的に参加し、地元との交流を深めていきます。

■ボランティア活動、就業体験受入

昨年度、地域ボランティアの皆さんに、しめ縄づくりや餅つきなどの行事に協力をいただきました。今年度も、積極的に園行事への協力をいただく予定です。

近郊の大学からは、保育士を目指す就業体験学生の受け入れを行っており、今年度以降も継続します。

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行う兵庫県独自の事業「トライやる・ウィーク」についても、平成29年度も就業体験生徒の受入を継続して行います。

環境整備

■施設の充実

年次進行で園児増が見込まれることより、園庭だけでなく遊戯室も有効活用する必要があるため、室内用の運動あそび遊具の充実を図ります。

■図書 of 充実

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本などの、児童・幼児用図書の充実を図ります。ご家庭でも絵本に親しんでいただくため、昨年8月に開設したふくろう文庫にて、図書の貸し出しを実施します。

■安全管理、健康管理

乳幼児や小学生の安心安全を担保する為、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理を徹底します。担任は子どもの健康管理について、保護者との情報の共有に努めます。

乳幼児突然死症候群（SIDS）や非常災害などの発

生時に備え、定期的に緊急時対応訓練を実施します。

■職員研修

園内研修については、必要に応じて外部講師を招聘し、計画的に実施していきます。園外研修についても、職員の派遣を積極的に行い、保育士の能力向上に努めます。

園児の受入

■園児・児童の受入方針

家庭によってお子さまの子育ての方針は、様々です。御影インターナショナルこども園およびM-KISSについては教育保育方針・目標などの内容を十分に理解したうえで、入園していただきます。

御影小規模保育ルームは認定施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れます。

■入園説明会・園庭解放

御影インターナショナルこども園では、体験型の入園説明会や施設見学会、毎月の園庭開放などで、園の方針を説明し、保護者の方のお子さまの教育保育に対する思いとミスマッチが生じないように努めます。

またM-KISSでは、施設や学童保育内容などに納得いただくため、随時見学を個別に受け付けています。

御影小規模保育ルームについては、神戸市へ支給認定手続き及び利用申込みの提出の際に、多くの入園希望者に選択いただけるよう、施設見学会を実施しています。また、個別見学も受け付けています。

主な行事予定

4月1日	入園式
5月13日	親子のつどい
6月第3週	保育参観・個別懇談
7月28日	夕涼み会（地域・保護者参加）
9月7日	祖父母参観日
9月30日	運動会
10月4日	地域老人会交流
10月31日	ハロウィンパーティー
11月9日	七五三詣り（弓弦羽神社）
11月18日	保育参観・クラス懇談会
12月2日	ファミリーコンサート （地域・保護者参加）
12月16日	みんなの発表会（乳児）
12月22日	クリスマス会
1月10日	お餅つき
2月17日	みんなの発表会（幼児）
3月17日	卒園式

その他行事

園庭開放（毎月）、入園説明会（7回／年）、施設見学会（15回／年）

誕生日会（毎月）、遠足（3回／年）、初詣、音楽会（2回／年）、科学教室（関連校連携）、子育て講座（地域・保護者向け）

児童・教職員数

■在籍児童数（平成29年5月1日現在）

◎御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
0歳児	6	6
1歳児	12	12
2歳児	18	18
3歳児	30	30
4歳児	30	24
5歳児	30	7
合計	126	97

◎御影小規模保育ルーム

クラス名	収容定員	在籍児童数
0歳児	19	2
1歳児		8
2歳児		9
合計	19	19

◎M-KISS（学童スクール）

クラス名	収容定員	在籍児童数
初級	32	19
中級	32	7
合計	64	26

■職員数

園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	5	16	3	25